

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	
現代の国語	2	1	
教科書番号・教科書名	副教材		
183第一 現国713・高等学校現代の国語	カラー版新国語便覧(第一学習社)		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 		
評価の方法	<p>①知識・技能</p> <p>生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 (定期考査/小テスト)</p>	<p>②思考・判断・表現</p> <p>「読むこと」「書くこと」「話すこと」「聞くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 (定期考査【書く・読む】発表・作品などの表現活動【話す・聞く】レポート【書く】)</p>	<p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 (ノート、レポート、課題などの記述内容/各種テストの取り組み状況/授業中の発言や行動の様子/自己評価や相互評価)</p>

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	理解編 一思考力、判断力を培うー1	『生きもの』として生きる』中村桂子	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 	○	○	
	5	理解編 一思考力、判断力を培うー1	『羅生門』芥川龍之介	<ul style="list-style-type: none"> 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 本自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 		○	○
	6	理解編 一思考力、判断力を培うー2	『水の東西』山崎正和	<ul style="list-style-type: none"> 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 情報と情報を見比べながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 	○	○	
	7	表現編ー伝える力を培うー話して伝える	話し方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 			○
第2学期	9	理解編 一思考力、判断力を培うー2	『ものとことば』鈴木孝夫	<ul style="list-style-type: none"> 具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質について要約文を書く。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 	○	○	
	10	理解編 一思考力、判断力を培うー3	『文化』としての科学』池内丁	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理・理解した上で、現状の科学と技術の関係に対する自分の意見を述べる。 文筋から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。 		○	○
	11	理解編 一思考力、判断力を培うー4	『現代の『世論操作』林香里	<ul style="list-style-type: none"> 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を表現に着目しながら読み取る。 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 	○	○	
	12	理解編 一思考力、判断力を培うー4	『鏡』村上春樹	<ul style="list-style-type: none"> 恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 		○	
第3学期	1	理解編 一思考力、判断力を培うー5	『不均衡な時間』内山節	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 対比による推論を叙述文基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 		○	○
	2	理解編 一思考力、判断力を培うー5	『城の峰にて』志賀直哉	<ul style="list-style-type: none"> 三つの小動物の死と関連して心境が勘られる構成を読み取り、作中に示された死生觀について考えを深めなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 作品に表れた死生觀を積極的に読み取り、意見をまとめて話し合おうとしている。 		○	○
	3	表現編ー伝える力を培うー話して伝える	スピーチで自分を伝える	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 		○	○
		表現編ー伝える力を培うー書いて伝える	地域の魅力を紹介する	<ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴、表現の特色を踏まえ、分かりやすさなどに配慮した表現について理解を深めている。 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に紹介文を書こうとしている。 	○		○

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年					
言語文化	3	1					
教科書番号・教科書名		副教材					
183第一 言文713・高等学校言語文化		新しい古典文法・漢文必携(桐原書店)、カラー版新国語便覧(第一学習社)					
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	①知識・技能	②思考・判断・表現				
評価の方法	<p>生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 (定期考査/小テスト)</p>	<p>読むこと「書くこと」「話すこと」「聞くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 (定期考査【書く・読む】発表・作品などの表現活動【話す・聞く】レポート【書く】)</p>	<p>言葉を通して積極的に他者や社会に関わったりしながり、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 (ノート、レポート、課題などの記述内容/各種テストの取り組み状況/授業中の発言や行動の様子/自己評価や相互評価)</p>				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	古文 入門	児のそら寝	<ul style="list-style-type: none"> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 	○	○	
			絵仏師良秀	<ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的な背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 	○		○
	5	古文 隨筆(二)	『徒然草』丹波に出雲といふ所あり	<ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的な背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 	○	○	
			漢文 入門	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、序説文字の種類と読み方を習得している。 古典の世界に親むために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 	○	○	
	6	故事成語	漁夫之利 狐借虎威	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかつた内容を工夫してまとめるようとしている。 	○		○
			古文 獣物語	<ul style="list-style-type: none"> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、獣物語の特徴と読み解き方を理解している。 獣物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 		○	○
	7	近現代の詩歌	その子二十	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。 	○		○
			古文 隨筆(一)	<ul style="list-style-type: none"> 自由に記述された隨筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解している。 学習の見通しをもって隨筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 		○	○
	9	漢文 史伝	『十八史略』 臥薪嘗胆	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 やや長めの史伝を読んで登場人物を押さえ、主要な人物の考え方や主張を読み取っている。 	○	○	
			古文 日記	<ul style="list-style-type: none"> 我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解いている。 学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。 		○	○
第2学期	11	漢文 漢詩	唐詩の世界 江雪 江南春 静夜思 送元二使安西	<ul style="list-style-type: none"> 表現の技法とその効果について理解している。 表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。 	○	○	
			古典の詩歌	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。 	○		○
	12	近現代の詩歌	一つのメルヘン	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解しようとしている。 	○		○
			I was born	<ul style="list-style-type: none"> 散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取っている。 「僕」の理解したイメージを自分事として共有し、考えたことを積極的に話し合おうとしている。 		○	○

	1	漢文 思想	『論語』	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
第3学期	2	古文 軍記物語	『平家物語』 木曾の最期	・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	3	古典の詩歌	『奥の細道』 平泉	・俳諧・狂歌における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉えている。 ・和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年				
歴史総合	2	1				
教科書番号・教科書名	副教材					
81山川 歴総707・歴史総合 近代から現代へ	最新世界史図説タペストリー・最新日本史図表					
学習の目標	・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。	①知識・技能 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解することができる。 ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 【定期検査、小テスト】	②思考・判断・表現 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相対的関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。 ・歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構思したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【定期検査、小テスト】	③主体的に学習に取り組む態度 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。 【ノート、レポート】		
評価の方法						
学習計画及び評価方法						
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法	
					① ② ③	
第1学期	4	第1章 結びつく世界	1.アジア諸地域の繁栄と日本 2.ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	・アジア各地に成立した大帝国を比較し、その特徴を考察し、表現している。 ・ヨーロッパにおける中央集権的な国家体制の成立と海外進出の結びつきを追究しようとしている。	○ ○ ○	
	5	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	1.ヨーロッパ経済の動向と産業革命 2.アメリカ独立革命とフランス革命 3.19世紀前半のヨーロッパ	・産業革命が国内外に与えた変化を注視している。 ・二つの革命の歴史的意義を見出そうとしている。 ・ヴィーン体制がめざしたものと、自由主義やナショナリズムがめざしたものとが対立していく構造を理解している。	○ ○ ○ ○	
	6	第3章 明治維新と日本の立憲体制	4.19世紀後半のヨーロッパ 5.19世紀のアメリカ大陸 6.西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 7.中国の開港と日本の開港	・ビザンティン外交の基本方針が、どのように外交政策に反映されたかを考察し、表現している。 ・アメリカ諸国の独立とその後について理解する。 ・アジアにおける今日のあり方と植民地化の歴史について追究しようとしている。 ・太平天国の乱後の中国における改革とその限界について考察している。 ・大政奉還の上表以降、明治新政府が成立していく経緒を理解している。	○ ○ ○ ○ ○ ○	
	7		1.明治維新と諸改革 2.明治初期の对外關係 3.自由民權運動と立憲体制	・太政官の上表以降、明治新政府が成立していく経緒を理解している。 ・条約や条規の内容をもとに、日本の領土確定の精神とその課題について調べ、追究しようとしている。 ・大日本帝国憲法の史料を読み、現在の日本国憲法と比較し、相違点や共通点を具体的に追究しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	
	9	第4章 帝国主義の展開とアジア	1.条約改正と日清戦争 2.日本の産業革命と教育の普及 3.帝国主義と列強の展開 4.世界分割と列強の対立 5.日露戦争とその影響	・日清戦争後の、政府と政党の動きについてその推移を考察している。 ・産業革命の発展について、産業別に比較し、具体的に考察し追究しようとしている。 ・イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめている。 ・列強が、二極分化していく動向を、各国の思潮もふまえて比較しながら考察している。 ・日露戦争の結果、日本国内や周辺地域にどのような影響をおぼえたか、追究しようとしている。 ・第一次世界大戦によって成立した統帥戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。	○ ○ ○ ○ ○ ○	
	10	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	1.第一次世界大戦とロシア革命	・第一次世界大戦後の各國における変化のあり方を、当時の情勢から考察している。 ・各地での民族運動の展開を比較しながら、その共通点と相違点について追究しようとしている。 ・労働運動や社会運動が活発化する背景を国際社会の状況と比較しながら検討しようとしている。 ・世界恐慌に対応して、各國の対応策を比較し、表現している。 ・日中戦争のおこった背景・過程について理解している。 ・第二次世界大戦からヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 ・東アジア諸国との独立の経緒を考察し、旧宗主国との対応を、各國別に表現している。 ・戦後処理のあり方を多面的・多角的に考察し、理解し追究しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	
	11	第6章 経済危機と第二次世界大戦	2.国際平和と安全保障 3.アジア・アフリカ地域の民族運動 4.大衆消費社会と市民生活の変容 5.社会・労働運動の進展と大衆の政治参加 1.世界恐慌の発生と各国の対応 2.ファシズムの台頭 3.日本の恐慌と満洲事変 4.日中戦争と国内外の動き 5.第二次世界大戦と太平洋戦争	・第一次世界大戦後の各國における変化のあり方を、当時の情勢から考察している。 ・各地での民族運動の展開を比較しながら、その共通点と相違点について追究しようとしている。 ・労働運動や社会運動が活発化する背景を国際社会の状況と比較しながら検討しようとしている。 ・世界恐慌に対応して、各國の対応策を比較し、表現している。 ・日中戦争のおこった背景・過程について理解している。 ・第二次世界大戦からヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 ・東アジア諸国との独立の経緒を考察し、旧宗主国との対応を、各國別に表現している。 ・戦後処理のあり方を多面的・多角的に考察し、理解し追究しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
	12	第7章 戦後の国際秩序と日本の改革	1.新たな国際秩序と冷戦の始まり 2.アジア諸地域の独立 3.占領下の日本と民主化 4.占領政策の転換と日本の独立	・地図を活用し、西側陣営・東側陣営が構築した防衛体制における紛争地図から、その意図を見出そうとしている。 ・ヨーロッパの地域統合における歩みと・アジア・アフリカの「第三世界」の形成があげた影響を理解している。 ・高度経済成長を支えた貿易黒字について、国際競争力を強めることのできた要因を考察している。 ・今日の核軍縮と核保有国の大態について追究しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
	第3学期	1	第9章 グローバル化する世界	9.世界経済の転換 10.アジア諸地域の経済発展と市場開放 1.冷戦の終結と国際情勢 2.ソ連の崩壊と経済のグローバル化 3.開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 4.地域紛争の激化 5.国際社会のなかの日本	・1970年代に世界経済の転換がおこった背景を理解している。 ・ Chernobyl原発事故の発生から、今日までの歩みとともに事故の意味を追究しようとしている。 ・アフガニスタン戦争、イラク戦争の問題点について考察し、表現している。 ・21世紀の改革や政策の影響を考察している。 ・近隣諸国との関係について、防衛強化の面・平和と安全の面といった多面的・多角的視点からよりよいあり方を追究しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
		2	第10章 現代の課題	1.現代世界の諸課題 2.現代日本の諸課題		

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	
数学Ⅰ	3	1	
教科書番号・教科書名		副教材	
数I 713 高等学校数学Ⅰ（数研出版）		4 STEP数学Ⅰ+A、チャート式数学Ⅰ+A	
学習の目標		・方程式と不等式、二次関数及び図形の計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。	
評価の方法		①知識・技能 ・知識・理解を中心に、数学的な見方や考え方及び表現・処理を含めて、定期考査で評価する。	②思考・判断・表現 ・知識・理解を中心に、数学的な見方や考え方及び表現・処理を含めて、定期考査で評価する。
		③主体的に学習に取り組む態度 ・関心・意欲・態度や数学的な見方や考え方及び表現・処理を、授業中の取り組み方や課題の提出状況及びその他のテストで評価し、その成績を加味し総合的に評価する。	
学習計画及び評価方法			
学期	単元名	項目	学習活動と評価のポイント
第1学期	第1章 数と式 第1節 式と計算 第2節 実数	1 多項式の加法と減法 2 多項式の乗法 3 因数分解	・整式の整理や展開ができる。 ・整式の計算の合理的方法について理解できる。 ・整式に適した方法で因数分解ができる。
	第3節 1次不等式	4 実数 5 根号を含む式の計算 6 1次不等式	・自然数、整数、有理数、無理数を実数として体系的に理解し、簡単な絶対値をはさすことができる。 ・根号を含む式の計算に習熟し、分母の有理化ができる。 ・不等式について理解し、大小関係を不等式で表すことができる。不等式を解くことの意味を理解し、解を求めることができる。
	第2章 集合と命題	7 絶対値を含む方程式・不等式 1 集合 2 命題と条件 3 命題と証明	・絶対値を含む方程式・不等式を解くことができる。 ・集合の表現方法や基本的性質を理解する。 ・必要条件と必要十分条件の定義を理解することができる。 ・逆・真・対偶の意味を理解することができる。
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化	1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ 3 2次関数の最大・最小	・関数を定義し、定義域、値域、グラフを理解できる。 ・2次関数のグラフをかくことができる。 ・2次関数の最大と最小を求めることができる。 ・2次関数の最大と最小の発展的な問題を解くことができる。
	第3節 2次方程式と2次不等式	4 2次関数の決定 5 2次方程式	・条件に合わせて2次関数の方程式を求めることができる。 ・2次方程式の解の公式を使うことができる。
		6 2次関数のグラフとx軸の共有点 7 2次不等式とその解	・2次関数のグラフとx軸の位置関係を理解できる。 ・不等式について理解し、大小関係を不等式で表すことができる。不等式を解くことの意味を理解し、解を求めることができる。 ・2次不等式の発展的な問題を解くことができる。
	第5章 データの分析	1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 2つの変量の間の関係 6 仮説検定の考え方	・範囲、四分位範囲、四分位偏差を理解し、箱ひげ図を用いてデータの分布のよさを視覚的に把握することができる。また、分散、標準偏差を理解する。 ・相関関係を1つの数値として表す方法として、相関係数を理解する。また、相関係数を求め、2つの変量の相関をとらえることができる。
	第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張 4 正弦定理 5 余弦定理	・锐角の正接・正弦・余弦を定義を理解し、求めることができる。正接・正弦・余弦との関係を理解できる。 ・钝角の正接・正弦・余弦との関係を理解できる。 ・正弦定理が理解できる。余弦定理が理解できる。
		6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角形の面積 8 空間图形への応用	・条件を満たす三角形の形状を求めることができる。 ・三角形の面積の求め方の理解を深め、それを活用して様々な图形の面積を求めることができる。 ・空間图形に関する問題の解決において、その中に含まれる三角形に着目し、三角比や定理等を有効に活用することができる。
	数学Ⅰは、数学Ⅰ3単位時間、数学A2単位時間、数学Ⅱ1単位時間の合計6単位時間の中で実施 2学期は、数学Aも同時に履修し、数学Ⅰの履修の修了後は、数学Ⅱを履修		
第3学期 3学期は、数学A及び数学Ⅱを履修			

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年				
物理基礎	2	1				
教科書番号・教科書名		副教材				
104・教研 物基/708 新編 物理基礎		物理基礎 学習ノート				
学習の目標		物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察実験を行うことなどを通して物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質能力を養う。				
評価の方法		①知識・技能 知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができるか。 【定期考查、小テスト、レポートなど】	②思考・判断・表現 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身につけているか。 【定期考查、小テスト、レポートなど】	③主体的に学習に取り組む態度 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。 【レポートなど】		
学習計画及び評価方法						
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法	
第1学期	4	運動の表し方	速度	物体の速さの式、等速直線運動の式およびv-t図、v-t図を理解している。 等速直線運動する物体の運動のようすについて説明できる。	① ○ ○	
	5		加速度	等加速度直線運動を表す3つの式を理解し、正しく運用することができます。	② ○ ○ ○	
	6	運動の法則	落体の運動	自由落下や鉛直投射はいずれも等加速度直線運動の一種であることを理解し、運用できる	① ○ ○	
			力とそのはたらき	力について、理解している。 注目する物体にはたらきが指摘でき、つりあいの式が立てられる。	② ○ ○	
			力のつりあい	運動をしている物体について、運動方程式を立てて考えることができ、問題解決にあたって式の運用が正しくできる。	③ ○ ○ ○	
	7	摩擦を受ける運動 液体や気体から受ける力	摩擦を受ける運動	摩擦について説明でき、摩擦力を用いた力のつりあいの式を立て、運動方程式を立てることができる。 浮力について説明できる。	① ○ ○ ○	
	9		液体や気体から受ける力	仕事と力学的エネルギー	仕事を実際に計算して比較することにより、「仕事の原理」を理解している。 運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを理解している。	① ○ ○
第2学期	10	力学的エネルギーの保存	位置エネルギー	物体が基準点まで移動するときに保存力がする仕事が、位置エネルギーであることを確認できる。	② ○ ○ ○	
			仕事と力学的エネルギーの保存	さまざまな物体の運動について、力学的エネルギー保存則を用いることができる。 力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考えることができます。	③ ○ ○ ○	
	11	熱とエネルギー	熱と物質の状態	物質が 固体→液体、液体→気体になる際の、熱のやりとりについて理解している。 温度や熱容量、比熱などのような物理量か、自分の言葉で説明できる。	① ○ ○	
			熱と仕事	仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解している。 不可逆変化とはどのような変化かを説明できる。	② ○ ○ ○	
	12	波の性質 音	波と媒質の運動	波の発生原理や基本事項を理解している。 波の伝わるようすを、グラフで表現することができる。 固定端と自由端での波の反射について、その違いを明確に説明できる。	① ○ ○	
			重ねあわせの原理	日常生活での体験を通して、音の波としての性質を理解している。	② ○ ○ ○	
			音の性質	うなづくなどどのような現象があるかを説明できる。 温度と気柱の長さの関係についてこれまで学んだ知識により推測できる。	③ ○ ○ ○	
			発音体の振動と共振・共鳴	物体の共振するしきみについて理解している。		
第3学期	1	物質と電気抵抗 磁場と交流	電気の性質	オームの法則、抵抗の接続、抵抗率の基礎について理解している。	① ○ ○	
			電流と電気抵抗	電気回路における、接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解しており、説明できる。	② ○ ○ ○	
			電気とエネルギー	ジュールの法則について理解し、電流と電圧とのような関係にあるか説明できる。	③ ○ ○ ○	
			電流と磁場	電磁誘導の基礎を理解している。 電流と磁場の関係について説明できる。		
2	交流と電磁波		交流電圧の基本	交流電圧の基本について理解している。 送電における電力損失の理由を理解しており、説明できる。	○ ○ ○	
3			エネルギーの利用	エネルギーにはどのような種類があるか、また、身近なさまざまな事象でのようなエネルギー変換がされているかを理解している。	○ ○ ○	

令和5年度 シラバス								
科目	単位数	学年						
生物基礎	2	1						
教科書番号・教科書名		副教材						
104教研 生基・707 生物基礎		2023セミナー生物基礎						
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。 ・日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 							
評価の方法	<p>① 知識・技能 代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系について、知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【定期考査、レポートなど】</p>	<p>② 思考・判断・表現 代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系について、習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身につけているか。 【定期考査、レポートなど】</p>	<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。【レポート、発表など】</p>					
学習計画及び評価方法								
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法			
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>①</th><th>②</th><th>③</th></tr> </thead> </table>	①	②	③
①	②	③						
第1学期	4	第1章 生物の特徴	1. 生物の多様性と共通性 生物の多様性・共通性とその由来、生物の共通性としての細胞	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は多様でありながら、共通性をもっていることを理解する。 ・生物の共通性と多様性は、生物の進化の結果であることを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
			2. エネルギーと代謝 生命活動とエネルギー、代謝とエネルギー、ATP	<ul style="list-style-type: none"> ・生命活動にはエネルギーが必要であることを理解する。 ・細胞の生命活動のエネルギーはATPの形で供給されることを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
			3. 呼吸と光合成 呼吸、光合成、エネルギーの流れ、酵素	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸や光合成の過程でATPが合成されることを理解する。 ・酵素の特徴を理解するとともに、酵素によって生体内で必要な化学反応が進行することを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
	5	第2章 遺伝子とそのはたらき	1. 遺伝情報とDNA 遺伝情報を含む物質-DNA、DNAの構造	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAは2本のヌクレオチド鎖からなる二重らせん構造をしていることを理解する。 ・遺伝情報はDNAの塩基配列にあることを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
			2. 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の複製、遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAが、半保存的に複製されることを理解する。 ・細胞周期の進行に伴って、DNAが正確に複製され、2つの細胞に分配されることを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
			3. 遺伝情報の発現 遺伝情報とタンパク質、タンパク質の合成、分化した細胞の遺伝子発現、遺伝情報と遺伝子、ゲノム	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質のアミノ酸配列は、DNAの塩基配列によって決まるることを理解する。 ・個体を構成する細胞は遺伝的に同一であるが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
	6	第3章 ヒトの体内環境の維持	1. 体内での情報伝達と調節 体内での情報伝達、神経系による情報の伝達と調節、内分泌系による情報の伝達と調節	<ul style="list-style-type: none"> ・体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。 ・自律神経系と内分泌系による情報伝達によって、からだの状態の調節が行われることを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
			2. 体内環境の維持のしくみ 体内環境の維持、血糖濃度の調節のしくみ、血液の循環を維持するしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホルモンと自律神経のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
			3. 免疫のはたらき からだを守るしくみ-免疫、自然免疫、適応免疫、免疫不活性	<ul style="list-style-type: none"> ・からだに、異物を排除する防御機構が備わっていることを理解する。 ・免疫と病気の関係や、免疫が医療に応用されていることについて理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
			4. 植生と遷移 植生、植生の遷移	<ul style="list-style-type: none"> ・植生の成りたちや相親について理解する。 ・植生が時間の経過とともに移り変わっていくことを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
第2学期	9	第4章 生物の多様性と生態系	1. 植生と遷移 植生、植生の遷移	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地方には、多様なバイオームが成立していることを理解する。 ・気候条件によっては、遷移の結果として森林のほかに草原や荒原にもなることを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
			2. 植生の分布とバイオーム バイオームの成立、世界のバイオーム、日本のバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系の成りたちを理解する。 ・生物どうしの関係が種多様性の維持にかかわっていることを理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
	10		3. 生態系と生物の多様性 生態系の成りたち、生態系と種多様性、生物どうしのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系がもつ復元力について理解する。 ・人間活動が生態系に及ぼす影響について理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
			4. 生態系のバランスと保全 生態系のバランス、人間の活動と生態系、生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系の保全の重要性について理解する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			
第3学期	1							
	2							
	3							

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	
体育	3単位	1学年	
教科書番号・教科書名	副教材		
保体701大修館 現代高等保健体育	現代高等保健体育ノート		
学習の目標	体育の見方、考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るために資質・能力を育成することを目指す。		
評価の方法	①知識・技能 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解とともに、技能を身に付けている。 ・実技テスト、知識テストなど	②思考・判断・表現 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けている。 ・課題レポート、グループ活動の発言など	③主体的に学習に取り組む態度 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けている。 ・学習状況(意欲、態度、グループ活動、準備・片付け等)の観察

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	体づくり運動	休ほぐし運動、体力を高める運動	・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わりを持とうとしている。 ・リズミカルに腕を振り、力みのないフォームで走っている。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・富山県の平均、または、中学時代の記録を参考に自分の設定した目標記録を達成しようとしている。	○		
		陸上競技	長距離走・持久走、短距離走	・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。	○	○	
		体力テスト	ハンドボール投げ、シャトルラン	・富山県の平均、または、中学時代の記録を参考に自分の設定した目標記録を達成しようとしている。		○	
	6	選択体育 球技①		・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、話し合っている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして互いに助け合い教え合おうとしている。	○	○	
			ソフトボール(男子)	・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。		○	
			硬式テニス(女子)	・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。		○	
		7 体育理論	スポーツの発祥と発展	・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。		○	
	9	選択体育 球技②	サッカー・バドミントン(男子)	・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・基礎打ちを習得し、シャトルをねらった場所に打っている。 ・パスを出した後に次のバスを受ける動きをすることができます。 ・ポジションの役割に応じて、正確に抽球と送球を行おうとしている。	○	○	
			ハンドボール・ソフトボール(女子)	・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○
		10 器械運動	マット運動	・動きの分析から課題を見つけて練習を繰り返すことで、技能や体力を高めようとしている。 ・危険を理解して実施するとともに、仲間に課題を伝えるなど、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。	○	○	○
	11	選択体育 球技③	バレーボール(男・女)	・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・テーマにふさわしいイメージを動きに表し、個や群での動きや空間の使い方を工夫しようとしている。		○	
		ダンス	創作ダンス	・スポーツにおける技能と体力やライフスタイルに応じたスポーツについての学習に、自主的に取り組もうとしている。		○	
		12 体育理論	運動・スポーツの学び方 豊かなスポーツライフの設計				
第3学期	1	選択体育 球技④	バスケットボール(男・女)・卓球(男子) バドミントン(女子)	・分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加している。 ・基本的なストロークを理解し、状況に応じて使おうとしている。	○		○
	2			・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。		○	
	3						○

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年	
保健	1単位	1学年	
教科書番号・教科書名	副教材		
保体701大修館 現代高等保健体育	現代高等保健体育ノート		
学習の目標	保健の見方、考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。		
評価の方法	<p>①知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。</p>	<p>②思考・判断・表現 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた思考・判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。</p>	<p>③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けている。</p>

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	1単元 現代社会と健康	1健康の考え方と成り立ち	・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			○
	5		2私たちの健康のすがた	・免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	6		3生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			
	7		4がんの原因と予防	・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	8		5がんの治療と回復	・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話したり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。			
	9		6運動と健康	・食事と健康、休養・睡眠と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話したり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。			
	10		7食事と健康	・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国これまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。			
第2学期	11	2単元 安全な社会生活	8休養・睡眠と健康	・精神疾患の特徴		○	○
	12		9喫煙と健康	・精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			
	13		10飲酒と健康	・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話したり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。			
	14		11薬物乱用と健康	・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	15		12精神疾患の特徴	・実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。			
第3学期	16		13精神疾患の予防	・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話したり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。		○	○
	17		14精神疾患からの回復	・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	18		15現代の感染症	・心肺蘇生法実習			
	19		16感染症の予防	・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)の使用などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	20		17性感染症・エイズとの予防	・交通安全部門について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。			
第4学期	21	3単元 心肺蘇生法	18健康に関する意思決定・行動選択	・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○
	22		19健康に関する環境づくり	・心肺蘇生法			
	23		20心肺蘇生法実習	・心肺蘇生法			
	24		21心肺蘇生法実習	・心肺蘇生法			

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年			
芸術(音楽 I)	2単位	第1学年			
教科書番号・教科書名	副教材				
音楽 I 27/教芸 703 MOUSA1	音楽通論、ミュージックノート				
学習の目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のように育成する。1. 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。2. 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようとする。3. 主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>				
評価の方法	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 様々な表現形態による、歌詞表現や器楽表現の特徴について理解している。 	<p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことについて考え、自己のイメージをもって歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。 曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や個性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 	<p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・協動的に歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 		
学習計画及び評価方法					
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法
第1学期	4	音楽視野の拡大 ①さまざまな発声にチャレンジ ②楽譜の読み方、いろんな国のお符の読み方	翼をください、負けないで Lemon, Ave Maria、校歌 楽典	曲種に応じたさまざまな発声の方法について学び、それを歌う。 楽譜の正しい読み方を身につけ、表現に生かすようにする。	① ○ ② ○ ③ ○
	5	イタリア歌曲の楽しみ	オーソレミオ、Calo mio ben	曲の性格をとらえ、それぞれにふさわしい表現になるように工夫する。	① ○ ② ○ ③ ○
	6	器楽曲の鑑賞	動物の謝肉祭	C・サンサーンスについて学び、楽曲を鑑賞する。	① ○ ② ○ ③ ○
	7	1学期のまとめ ミュージカル鑑賞		・期末考查、歌唱テスト等を受ける。 ・総合芸術の一つであるミュージカルについて学習し、ミスサイゴンを鑑賞する。	① ○ ② ○ ③ ○
第2学期	9	ハンドベルアンサンブルの楽しみ	星に願いを、エーデルワイス、 花は咲く、いつも何度でも、 ホールニューワールド	・ハンドベルの正しい奏法を身につけ、曲を演奏する。 ・パートの役割を理解して、音色の特徴を考え、それを生かしながらアンサンブルをする。 ・ハンドベルアンサンブルのDVDを鑑賞し、自分たちの演奏に生かす。	① ○ ② ○ ③ ○
	10	アンサンブルのまとめ 歌の楽しみ	アンサンブルの発表 ひまわりの約束 ハイデンレースライン	・練習の成果をしっかりと人の前で発表する。 ・曲の性格をとらえ、それぞれにふさわしい表現になるよう工夫する。	① ○ ② ○ ③ ○
	11	2学期のまとめ オペラ鑑賞	歌唱テスト	・期末歌唱テストを受ける。 ・総合芸術の一つであるオペラについて学習し、トゥーランドットを鑑賞する。	① ○ ② ○ ③ ○
	12	大作曲家の作品に触れる リコーダーアンサンブルの楽しみ ヴォイスアンサンブルの楽しみ 日本歌曲の楽しみ	交響曲第25番、アイネクライネナハトムジーク グリーンスリーブス、涙そうそう 栄光の架け橋 待ちぼうけ、この道、外郎売り	・W.A.モーツアルトについて学び、楽曲を鑑賞する。 ・リコーダーの正しい奏法を身につけ、曲を演奏しアンサンブルを楽しむ。 ・ハーモニーの美しさを感じ取りながら合唱する。 ・歌詞に込められた内容が聴き手に伝わるように歌う。日本語の明確な発音を身につける工夫をする。	① ○ ② ○ ③ ○

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年					
美術 I	2	1					
教 科 書番号・教科書名		副 教 材					
38光村 美 I 701		なし					
学習の目標		美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。					
評価の方法		①知識・技能 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、作品を見て造形的な視点をふまえた自分なりの解釈をすることができる。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、自分らしい見方・考え方、あらわし方で創造的にあらわしている。 (作品・ワークシート・観察)	②思考・判断・表現 ・絵画・彫刻表現の活動において、自然や生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かした、形体や色彩、構成などの構想を練ることができる。 ・デザイン表現の活動において、目的や条件、美しさなどを考え主題を生成し、デザインの機能や効果、表現形式の特性を生かして構想を練ることができる。 ・鑑賞の活動において、自分の価値意識を持って、日本や諸外国の美術・美術文化に触れ、よさや美しさを言葉で表すことで、見方や感じ方を深めている。 (作品・ワークシート・観察)	③主体的に学習に取り組む態度 ・主体的に風景や自己、鑑賞作品を見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 (ワークシート・ふりかえりシート・観察)			
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	絵画 ／鉛筆デッサン 「身近なものを描く ～動きのある手のデッサン～」	・オリエンテーション ・鉛筆の削り方 ・陰影のつけ方 ・形の取り方 (ベースペクティブについて) ・紙コップのデッサン ・表面の質感の表現 ・モノを持った手のデッサン	・意図に応じて3種類の鉛筆や持ち方、芯の削り具合を変えることで、その効果を考えながら工夫してあらわしている。 ・形や陰影、質感などが感情にもたらす効果を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・身近なものを見つめ、感じ取った特徴や動きの面白さなどから主題を生成し、形や陰影、質感、用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴や動きの面白さなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	○		
	5				○	○	○
	6	工芸 ／切絵 「動物のいる情景」	・ステンドグラスの鑑賞 ・色の組み合わせ ・画面分割の工夫 ・形の取り方 (ベースペクティブについて) ・紙コップのデッサン ・表面の質感の表現 ・モノを持った手のデッサン	・諸外国のバロック期の建築に見られるステンドグラスの造形に関心を持ち、造形的なよさや美しさを感じ取る。 ・動物のイメージや特徴、動物のいる風景などから自分なりの主題を生成する。 ・主題をもとに、切絵の特性を生かして構想を練る。 ・構図や色などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	○	○	○
	7				○	○	○
	9	絵画 ／油絵(風景画) 「居場所」	・浮世絵の鑑賞 ・版画の多色刷り技法 ・北斎絵画から、次時の風景画への展開	・北斎の作品と他の浮世絵作家の作品を、形や色、造形的な特徴などをもとに比較し、北斎の作品を全体のイメージや作風、様式などで捉えている。 ・版画の多色刷りや江戸時代の文芸のはやりについて知り、日本の美術文化について見方や感じ方を深めている。 ・主体的に北斎の作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、次時の風景画制作の表現につながる鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○
	10				○	○	○
	11				○	○	○
	12				○	○	○
第3学期	1	デザイン ／デザインの鑑賞・表現 「情報をおわかりやすく伝える デザイン」	・ピクトグラムの鑑賞 ・物語の内容やイメージをもとにした デザインの構想 ・アイデアスケッチ ・下絵 ・着彩 ・デザインプレゼンテーション (1人1分程度)	・ピクトグラムのデザインに関心を持ち、伝える内容や相手などから主題を生成している。 ・主題をもとに、形や色、構造などの構想を練っている。 ・形や色、材料、構造などを工夫し、見通しを持って制作している。 ・自分の意図やデザインに込めた思いについて言葉で伝え、共有することができる。	○	○	○
	2				○	○	○
	3				○	○	○

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年						
書道 I	2	1						
教科	書番号・教科書名	副教材						
2 東書 書I 701		なし						
学習の目標	・基本的な理論と表現技術を習得する ・書道の諸活動を通して、書の楽しさ、書を愛好する心情を育てる							
評価の方法	①知識・技能 ・書道に関する事項について理解している ・古典の特徴を理解している ・用筆・運筆を理解している	②思考・判断・表現 ・古典の特徴を生かし、書くことができる ・用法・運筆を習得している ・字形・点画の太さ等に留意し、書くことができる	③主体的に学習に取り組む態度 ・授業の取り組み姿勢や、プリントの書き込み内容等を評価の参考とする					
学習計画及び評価方法								
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法	①	②	③
第1学期	4	漢字の書(楷書)	書写と書道の関係／書の分野／文房四宝／書道用語	・書写と書道の共通点と相違を理解する ・書の分野について理解する ・書道用語と意味・用法・用材について理解する		○		○
	5		漢字の成立と変遷	漢字の成立と変遷について理解する		○		○
	6		「孔子廟堂碑」	特徴を理解し、伸びやかな線と向勢で書ける		○	○	○
	6		「九成宮醴泉銘」	特徴を理解し、整然とした背勢で書ける		○	○	○
	6		「雁塔聖教序」	特徴を理解し、変化に富んだ用筆で書ける		○	○	○
	7		「牛橛造像記」	特徴を理解し、方筆・方勢で書ける		○	○	○
	7		「自書告身」	特徴を理解し、顔法や向勢で書ける		○	○	○
第2学期	9	(行書)	行書の特徴	・行書について理解する ・多用される用筆・運筆を理解し、書くことができる		○	○	○
	10		「蘭亭序」	特徴を理解し、筆脈や抑揚に留意して書ける		○	○	○
	10		「争坐位文稿」	特徴を理解し、重厚な用筆で書ける		○	○	○
	10		「風信帖」	特徴を理解し、筆脈や抑揚に留意して書ける		○	○	○
	11	篆刻	篆刻について	篆刻について理解する		○		○
	11		実習	・しっかりと印稿を作る ・基本的な篆刻の方法を習得する		○	○	○
第3学期	12	仮名の書	仮名の成立	仮名の成立と変遷について理解する		○	○	○
	12		基本線	仮名の用筆・運筆を習得する		○	○	○
	12		単体	用筆・運筆を習得し、しっかりと線が書ける		○	○	○
	12		連綿	連綿について理解し、用筆・運筆を習得する		○	○	○
	1	漢字仮名交じりの書	散らし書き	散らし書きについて理解する		○	○	○
	2		漢字仮名交じりの書について	漢字仮名交じりの書について理解する		○	○	○
	2		文字の大きさ・構成	文字の大小・配置について理解し、書くことができる		○	○	○
	2		イメージ	言葉から受けるイメージを表現する		○	○	○
	3		創作	好きな漢字仮名交じりの言葉を字形・大きさ・構成を考えて表現する		○	○	○

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年						
英語コミュニケーション I	3	1						
教科書番号・教科書名		副教材						
231 いいずな C I 724 New Rays English Communication I		New Rays English Communication I 学習ノート						
学習の目標		<ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 日常的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え方、気持ちなどを伝え合うやりとりを続けることができる。 教科書の内容を要約し、表情や身振り手振りを用いながら簡単な英語で伝えることができる。 授業で習ったことや本文に関する自分の意見を既習の表現を使って50語程度の英文で書くことができる。 						
評価の方法		<table border="1"> <thead> <tr> <th>①知識・技能</th> <th>②思考・判断・表現</th> <th>③主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 英語の特徴やきまりに関する事項を正しく理解している。 日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれていたりしている文の内容を正しく捉えることができる。 [定期検査、小テスト、エッセイライティング] </td><td> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面に応じて情報や考え方等を基本的な語句や文を用いて論理的に表現することができる。 [定期検査、エッセイライティング、グループディスカッション、プレゼンテーション] </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 聞き手や話し手に配慮しながら、情報や考え方を主体的かつ論理的に英語を用いて伝えようとしている。 [定期検査等提出課題、エッセイライティング、グループディスカッション、プレゼンテーション] </td></tr> </tbody> </table>	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 英語の特徴やきまりに関する事項を正しく理解している。 日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれていたりしている文の内容を正しく捉えることができる。 [定期検査、小テスト、エッセイライティング] 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面に応じて情報や考え方等を基本的な語句や文を用いて論理的に表現することができる。 [定期検査、エッセイライティング、グループディスカッション、プレゼンテーション] 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手や話し手に配慮しながら、情報や考え方を主体的かつ論理的に英語を用いて伝えようとしている。 [定期検査等提出課題、エッセイライティング、グループディスカッション、プレゼンテーション]
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度						
<ul style="list-style-type: none"> 英語の特徴やきまりに関する事項を正しく理解している。 日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれていたりしている文の内容を正しく捉えることができる。 [定期検査、小テスト、エッセイライティング] 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面に応じて情報や考え方等を基本的な語句や文を用いて論理的に表現することができる。 [定期検査、エッセイライティング、グループディスカッション、プレゼンテーション] 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手や話し手に配慮しながら、情報や考え方を主体的かつ論理的に英語を用いて伝えようとしている。 [定期検査等提出課題、エッセイライティング、グループディスカッション、プレゼンテーション] 						

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名・項目	学習活動と評価のポイント	①	②	③
第1学期	4	Chapter 1 The Future Is Yours	<ul style="list-style-type: none"> ロバートキャンベル氏の話を読み、著者のメッセージを理解する。 本文をふまえ、これまでの人生に影響を与えた出来事を述べる。 時制や基本的な文構造について理解する。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	5	Chapter 2 The Power of Design	<ul style="list-style-type: none"> デザインに関する文を読み、デザインが生活にどのような影響を与えていているかを考える。 スマートフォンのデザインやピクトグラムについて意見を交換する。 接続詞について理解する。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	6	Chapter 3 Plastic Is Everywhere	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック汚染の現状に関する文を読み、概要を理解する。 プラスチック汚染を解決するために私たちができることについて発表する。 現在完了形、現在完了進行形、受動態について理解する。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	7	Chapter 4 OriHime – A Vehicle of Your Heart	<ul style="list-style-type: none"> オリヒメというロボットに関する文を読み、概要を理解する。 オリヒメの活用方法を考え、発表する。 関係代名詞[制限用法]、過去完了形、過去完了進行形について理解する。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	9	Chapter 5 Satoko and Nada	<ul style="list-style-type: none"> ユベチカ氏とのインタビューを読み、異文化コミュニケーションについて考える。 to不定詞、動名詞について理解する。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	10	Chapter 6 The Voice of Children	<ul style="list-style-type: none"> 「バラクラマ」という新聞についての文を読み、概要を理解する。 メディアに関するテーマについて、自己に引き寄せて意見を交換する。 分詞の形容詞的用法、分詞構文について理解する。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	11	Chapter 7 Human Habitation on Mars	<ul style="list-style-type: none"> 火星移住に関するインターネット記事を読み、事実を正確につかむ。 火星に関するテーマについて、自己に引き寄せて意見を交換する。 助動詞、関係代名詞[非制限用法]について理解する。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
第2学期	12	Chapter 8 A Loving Story	<ul style="list-style-type: none"> 「ラビング事件」についての文章を時系列を追いかながら読み、内容をつかむ。 本文をふまえ、人種問題について考える。 関係副詞、関係代名詞whatについて理解する。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	1	Chapter 9 Edo, the Resilient City	<ul style="list-style-type: none"> 江戸の災害からの復興についてのプレゼンテーションを読み、プレゼンや資料を使い方を学ぶ。 仮定法過去、仮定法過去完了、仮定法の慣用表現について理解する。 	○ ○	○ ○	○ ○
	2	Chapter 10 A Quality Education for All	<ul style="list-style-type: none"> アフリカにおける貧困と教育問題についての文を読み、概要を理解する。 今日の世界における教育の役割や意義について、意見を述べる。 動詞+名詞+that節、強調構文について理解する。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	3					

令和5年度 シラバス

科目	単位数	学年					
家庭基礎	2	1年					
教科書番号・教科書名	副教材						
家基705 「家庭基礎 気づく力築く未来」	「2023 最新 生活ハンドブック 家庭 資料&成分表」第一学習社						
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 様々な人と協働し、地域社会に参画するとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。 						
評価の方法	<p>①知識・技能 生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。【定期考查・ワークシート】</p>	<p>②思考・判断・表現 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。【定期考查・発表・振り返りシート・レポート】</p>	<p>③主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。【振り返りシート・レポート】</p>				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	①	②	③
第1学期	4	第1章 これから的人生について考えてみよう	1 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～	・ライフステージにおける発達課題について理解し、自分や人の一生について考えをまとめようとしている。	○	○	○
			2 これから的人生をデザインする	・社会的背景を踏まえ、生涯にわたる生活設計を具体的に描こうとしている。	○	○	○
	5	第2章 自分らしい生き方と家族	1 自立と共生	・自己や男女共同参画社会など現在の社会状況について理解しようとしている。	○	○	○
			2 ライフキャリア	・労働の意義を多面的に検討し、生活における時間の使い方や課題を見いだそうとしている。	○	○	○
第2学期	6	第3章 子どもとかかわる	3 共に生きる家族	・家族・家庭の役割や多様化を理解し、図表などから変化してきた家族・家庭の役割について自らの考えを深め、表現しようとしている。	○	○	○
			4 家族に関する法律	・家族に関する法律を理解し、自分との関わりについて関心を持とうとしている。	○	○	○
	7	第4章 高齢者とかかわる	1 子どもとは	・生命の尊さについて青年期や自分の将来と結びつけて学習しようとしている。	○	○	○
			2 子どもの発達	・子どもの心身の発達や子どもの生活を理解し、子どもを取り巻く環境について課題を見つけ、解決への考え方をまとめようとしている。	○	○	○
第3学期	8	学校家庭クラブ活動 ホームプロジェクト(夏休み課題)	3 子どもの生活	・赤ちゃんとふれあう体験学習に積極的に参加し、準備、実施、考察、反省までをサポートにまとめ、親の役割を自分なりに表現しようとしている。	○	○	○
			4 子どもをはぐくむ	・赤ちゃんとふれあう体験学習に積極的に参加し、準備、実施、考察、反省までをサポートにまとめ、親の役割を自分なりに表現しようとしている。	○	○	○
	9	第5章 社会とかかわる	5 子どものための社会福祉	・高齢社会の現状と課題について理解しようとしている。	○	○	○
			1 高齢社会に生きる	・高齢者の心身の特徴を理解し、高齢者の自立した生活について考えをまとめ、積極的に高齢者とかかわろうとしている。	○	○	○
第4学期	10	第6章 食生活をつくる	2 高齢者を知る	・高齢者の生活を支えるしくみや地域福祉の重要性について理解しようとしている。	○	○	○
			3 高齢者の自立を支える	・高齢者の生活を支えるしくみや地域福祉の重要性について理解しようとしている。	○	○	○
	11	第7章 衣生活をつくる	4 高齢社会を支えるしくみ	・日本の食文化の成り立ちや特徴、食事の意義や役割、食生活をどうく環境を理解し、自分自身の食生活の課題解決のために改善方法を思考し、解決しようとしている。	○	○	○
			5 これからの食生活を考える	・栄養・食品に関する知識や調理の技術を積極的に身につけ、実際の生活中に生かそうとしている。	○	○	○
第5学期	12	第8章 住生活をつくる	6 これからの食生活を考える	・食中毒の予防法や食品添加物等の正しい知識を身につけようとしている。	○	○	○
			1 人と衣服のかわり方	・衣服の素材の種類と特徴、衣服材料の性能と特徴、衣服整理について知識を身につけることによって、適切に選択し、管理しようとしている。	○	○	○
	1	第9章 消費行動を考える	2 衣服の素材の種類と特徴	・不要となった衣類について環境に配慮した衣生活を自らの生活で実践しようとしている。	○	○	○
			3 衣服の選択から管理まで	・衣服の構造とデザイン	○	○	○
第6学期	2	第10章 経済的に自立する	4 持続可能な衣生活をつくる	・気候風土と住まいの関係や住まいの役割・機能について理解し、ライフステージに応じた住まいについて考えようとしている。	○	○	○
			5 衣服の構造とデザイン	・室内環境と健康のかかわりを理解し、日照・採光・通風・換気・冷暖房など健康的な住まい環境を理解しようとしている。	○	○	○
	3	生活設計	4 健康に配慮した快適な室内環境	・災害情報の入手方法や地域の安全への備えの重要性を理解し、暮らしやすい住まいの環境を調べ、表現しようとしている。	○	○	○